学校番号	2004

令和８年度　美術科

教科	芸術	科目	総合美術	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

広い範囲で総合的な美術制作や体験に取り組みます。
自分で制作課題を決めたり、やってみたい企画を授業で提案したりなど、自分から進んで制作します。課題に取り組み作品を相互評価します。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】画材の特性を理解し制作に活用する。
【思考力、判断力、表現力等】構成や主題に合わせて色彩など工夫する。
【学びに向かう力、人間性等】より良い作品を作ろうと創意工夫する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	画材や技法について理解し、作品に活用することができる。	自身の発想や構想を作品に効果的に表現することができる。 作品合評で互いの作品を評価し、良いところや楽しめるところを見つけることができる。	より良い作品を制作しようとする姿勢で取り組むことができる。 自身のやってみたいことを発信し制作計画をたて、制作することができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	自由制作	絵画 デザイン 彫刻・立体 版画 過去に取り組んだ課題 いずれかの一つのカテゴリから選択した課題を制作する。	a:画材や課題の特性を理解し活用することができる。 b:構想を作品に表現することができる。 c:より良い作品を制作しようと探りながら取り組むことができる。 合評で出た話を次以降の制作に活かすことができる。	作品	作品	制作の様子 合評の様子
		持ち込み企画 事前に集めた提案をもとに話し合って決め、制作する。	a:画材や課題の特性を理解し活用することができる。 b:構想を作品に表現することができる。 c:より良い作品を制作しようと探りながら取り組むことができる。	作品	作品 課題の提案	制作の様子 課題の提案
後期	自由制作	絵画 デザイン 彫刻・立体 版画 過去に取り組んだ課題 いずれかの一つのカテゴリから選択した課題を制作する。	a:画材や課題の特性を理解し活用することができる。 b:構想を作品に表現することができる。 c:より良い作品を制作しようと探りながら取り組むことができる。 合評で出た話を次以降の制作に活かすことができる。	作品	作品	制作の様子 合評の様子
		持ち込み企画 事前に集めた提案をもとに話し合って決め、制作する。	a:画材や課題の特性を理解し活用することができる。 b:構想を作品に表現することができる。 c:より良い作品を制作しようと探りながら取り組むことができる。	作品	作品 課題の提案	制作の様子 課題の提案

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度